

工業会活動

令和3年航空機生産額は前年比3,101億円の減額

経済産業省が2月15日に公表した生産動態統計（年計確報値）に基づき、令和3年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比3,101億円（21.1%）減の1兆1,598億円となった。平成25年から急増した生産額は、平成28年に反転下落した後に緩やかに増加し、令和元年に1兆8,569億円となったが、令和3年は2年に引き続き大きく下落していることが確認された。防需と民需の内訳は、防衛向けが前年比109億円増の5,122億円、民間向けが3,209億円減の6,476億円となっている。

品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが機体製造及び機体部品ともに増加し昨年実績を351億円上回る3,541億円、民間向けが主力のボーイング777及び787の生産減等により昨年実績を1,903億円下回る2,486億円となったため、機体全体では前年より1,554億円（20.5%）減の6,027億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが73億円の減、民間向けが1,263億円の減となり、エンジン全体では前年より1,335億円（22.9%）減の4,500億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛及び民間向けともに減となり、前年より212億円（16.5%）減の1,071億円となった。

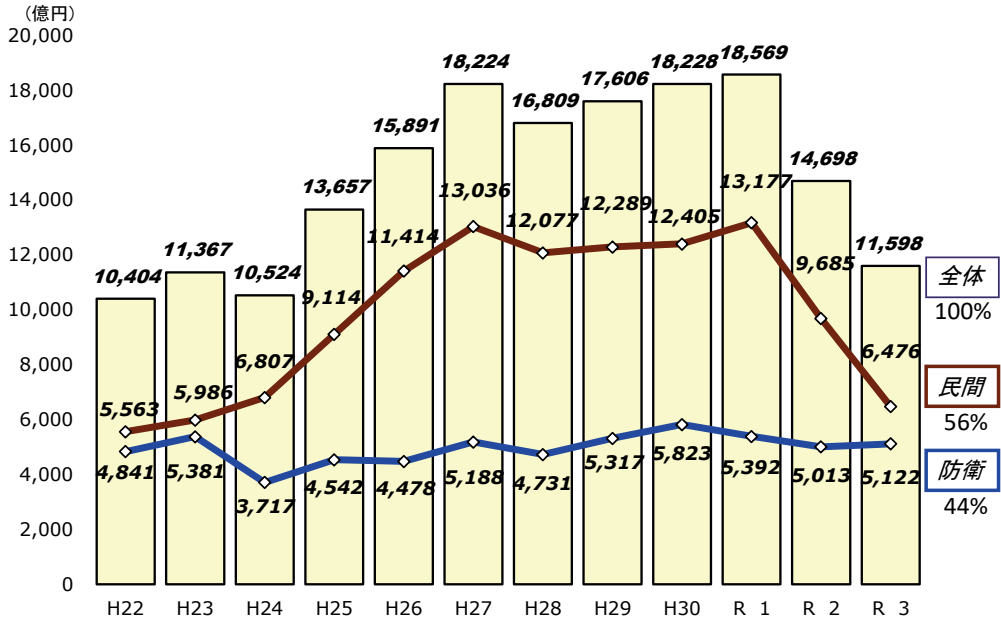
また、全体額の防需と民需の比率は44%対56%と民需が前年よりさらに減少した。平成24年以降、民間航空機でボーイング社等からの受注増大に伴い民需比率が増大する傾向にあったが（民需比率のピークは平成28年の72%）、令和2年以降は新型コロナウイルスの

影響による航空機需要減少に伴い、民需比率が減少する結果となった。

なお、令和3年の品目別防需比率は、機体関連59%、エンジン関連16%、その他機器80%となっている。

上記のように令和3年の我が国の航空機生産は、令和元年に引き続き大きく減少した。今後については、防衛向けではP-1固定翼哨戒機やC-2輸送機等の調達に伴う安定的な生産及び次期戦闘機の開発推進が期待される。民間向けではボーイング社が次期主力機777X初号機納入を2023年末に延期したことに加え、新型コロナウイルスの影響による航空機需要減が見込まれるとしてボーイング777及び777Xの減産を継続しており、また、ボーイング787についても同様の理由等で減産を継続している。こうした状況を踏まえると、令和4年以降の航空機生産の動向はかなり厳しい状況が想定される。

航空機／国内生産額推移



令和2年と令和3年の区分別比較

(単位: 億円)

区分	R2年 確定値 (R3.6月)			R3年 確報年計値 (R4.2月)			差 (R3年 - R2年)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	1,143	13	1,155	1,372	31	1,403	230	18	248
		部品	1,054	4,163	5,217	991	2,200	3,191	△64	△1,963	△2,026
		小計	2,197	4,176	6,373	2,363	2,231	4,594	166	△1,945	△1,779
	エンジン	本体	218	6	225	72	4	77	△146	△2	△148
		部品	463	4,724	5,187	426	3,515	3,941	△37	△1,209	△1,245
		小計	681	4,730	5,411	499	3,519	4,018	△183	△1,211	△1,393
	その他機器	886	234	1,120	703	191	894	△183	△43	△226	
合計	3,765	9,140	12,904	3,565	5,941	9,506	△200	△3,198	△3,398		
修理	機体	本体	645	128	773	728	132	860	82	4	87
		部品	348	85	433	450	122	573	102	37	140
		小計	993	213	1,206	1,178	255	1,433	185	42	226
	エンジン	本体	86	282	368	191	243	434	105	△40	65
		部品	31	25	56	36	13	49	5	△12	△7
		小計	117	307	424	227	256	482	110	△52	58
	その他機器	139	25	164	152	24	177	14	△1	13	
合計	1,248	546	1,794	1,557	535	2,092	309	△11	298		
全体	機体	本体	1,788	141	1,929	2,100	163	2,263	312	22	334
		部品	1,402	4,248	5,650	1,441	2,323	3,764	39	△1,926	△1,887
		小計	3,190	4,389	7,579	3,541	2,486	6,027	351	△1,903	△1,554
		(42%)	(58%)	(100%)	(59%)	(41%)	(100%)				
	エンジン	本体	304	289	593	263	247	510	△41	△42	△83
		部品	494	4,749	5,242	462	3,528	3,990	△31	△1,221	△1,252
		小計	798	5,037	5,836	726	3,775	4,500	△73	△1,263	△1,335
		(14%)	(86%)	(100%)	(16%)	(84%)	(100%)				
	その他機器	1,025	259	1,284	855	216	1,071	△169	△43	△212	
		(80%)	(20%)	(100%)	(80%)	(20%)	(100%)				
合計	5,013	9,685	14,698	5,122	6,476	11,598	109	△3,209	△3,101		
	(34%)	(66%)	(100%)	(44%)	(56%)	(100%)					

(注) 四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない

(出典: 経済産業省 生産動態統計)

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕